

議題（１）「中間報告」に関して御提出いただいた  
御意見及び御質問

資料 1 - 1 について

○ 北見専門委員

【御意見】

資料番号	ページ番号	項目
1 - 1	16	1 (1)

意見内容

食品安全委員会のホームページの更新を行う際は、更新内容を記載することをご検討頂きたい。

<意見の理由>

食品安全委員会のホームページにつきましては更新頻度も高く、参考にさせて頂いております。一方、今回の資料を頂いて初めて、食品ハザード情報ハブの更新は水道水質基準についての情報の追加であることが分かりました。その他、ホームページの更新をされる際は、その内容の詳細を是非とも掲載いただきたく今回意見書を提出させて頂きました。加えて、今回の件につきましては、水道水質基準の具体的にどのような内容が追加されたかについても記載いただけるとありがたく存じます。

## ○ 浦郷専門委員

### 【御意見】

資料番号	ページ番号	項目
1-1	20	3(1)

#### 意見内容

関係府省庁のリスコミ担当者連絡会議が頻繁に開催され、協議や情報交換がされる中で、各府省庁からの SNS での発信をお互いにシェアやリツイートしているとのことだが、拡散されることでより多くの人に情報が届くようになり効果も大きくなると思う。引き続き協力して進めてほしい。

一方、リスコミの場は毎年定期的で開催されているのは食品中の放射性物質について考えるリスコミのみになっている。食品添加物や遺伝子組換え食品、ゲノム編集技術応用食品などについても、連携して定期的に繰り返し開催する必要があると思う。

#### <意見の理由>

消費者が安全性に疑問を感じていることに関しては、情報提供と考える場がないと、不安情報に惑わされてしまう。理解を進めるためにも、行政から率先して場作りをすべきと思う。

## 資料1-2について

### ○ 今村専門委員

#### 【御質問】

資料番号	ページ番号	項目
1-2	5	<見直した評価ガイドライン> 「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針」の一部改正

#### 質問内容

今回のベンチマークドーズ法の指針の改正は「ベイズ統計学に基づく手法の導入」と理解していますが、事前確率を入れた「ベイズ統計学」と事前確率を入れない「既存統計学」とでは、結果に大きな差が生じるため、この点を確認させていただきたいです。

以前、下記の質問をしていますが、今回可能なら教えてください。  
「欠損値処理にベイズ推計を使っているのか、ベンチマークを作るのに何か事前確率を使ってベイズ推計をしているのか、それとも直接ベイズ推計を何かに使っているのかを教えてください。」

## ○ 浦郷専門委員

### 【御質問】

資料番号	ページ番号
1-2	19

#### 質問内容

食品安全モニターから28件の提案・報告を受けたとのことだが、リスクコミュニケーション分野が7件と多くなっている。具体的にどのような提案・報告があったのか？

また、基準にすべて該当するものについては、関係省庁に共有だけでなく回答も求めるとなっているが、28件のうち何件該当したのか？それはモニターへも回答を返すのか？

## ○ 有田専門委員

### 【御意見等】

資料番号	ページ番号	行番号	項目
1-2	20	12行目	②食品中の大腸菌群の検査について

### 【御意見】

#### 意見内容

「ISO 法等国際試験法に合わせた形に改定し、」の改定内容を具体的に知りたい。

#### <意見の理由>

以前、幼児用玩具の試買調査を行ったことがある。検査は ISO 試験法などにも対応した試験機関に依頼した。その際に、食品衛生法で行う試験法と ISO の試験法では検査方法も補正值も違う事が分かり、ISO 法等国際試験法に合わせたほうが基準が厳しいと感じた。

### 【御質問】

#### 質問内容

なぜ今まで定性的な試験法で行ってきたのか。また、希釈倍率の違い、使用培地の違いなど具体的に知りたい。